

平成29年度特別会計決算 **認定**

国民健康保険事業

区 分	29 年 度 末	前 年 度 比
南島原市総世帯数	18,953 世帯	△29 世帯
南島原市総人口	46,566 人	△948 人
国保世帯数	8,880 世帯	△301 世帯
加入世帯率	46.9%	△1.6%
退職者等加入者	179 人	△173 人
一般若人加入者	17,102 人	△670 人
国保人口合計	17,281 人	△843 人
国保加入率	37.1%	△1.0%

歳入総額
106億915万9千円

歳出総額
100億3,620万9千円

実質収支額
5億7,295万円



《概 要》

来年度から県が事業主体となるが、引き続き高齢化や医療費の増嵩が予測され、中長期的な健全財政を目指すため、税の収納対策や、特定健診事業の充実強化を図るなどの財政健全化に努める事が重要である。

簡易水道事業

歳入総額
21億7,445万6千円

歳出総額
21億1,620万2千円

実質収支額
1,556万5千円

簡易水道統合整備事業は平成29年度が最終年度となるため、事業完了に向け施設の整備及び送配水管、連絡管の整備を行った。

給水件数は14,524件、給水人口は33,250人と、区域内人口の減少に伴い給水人口も年々減少しており、老朽化した施設の更新をはかり有収率の向上に努める必要がある。

下水道事業

歳入総額
6億4,546万6千円

歳出総額
6億779万7千円

実質収支額
8千円

各地区の加入率は口之津処理区1,427戸61%、南有馬町処理区389戸50%と僅かずつ増加しているが、農業集落排水の西有家町慈恩寺・見岳処理区は142戸56%と横ばいであった。

今後もさらに加入率の向上に努める必要がある。

後期高齢者医療事業

歳入総額
6億4,164万4千円

歳出総額
6億4,079万4千円

実質収支額
85万円

被保険者は9,711人で、前年度より76人減少し、総人口の20.9%を占めている。

保険料の収納率は、99.6%、医療費は、一人当たり前年度より1.8%増加しており、今後も制度維持のため保健事業や広報活動を充実させる必要がある。